

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 チエル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3933 URL  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川居 睦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 若松 洋雄 (TEL) 03-6712-9721  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,761	12.2	132	1.5	121	△20.6	96	△3.0
2020年3月期第2四半期	1,569	92.4	130	—	152	—	99	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 96百万円(△2.7%) 2020年3月期第2四半期 99百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	12.50	12.43
2020年3月期第2四半期	12.96	12.82

(注) 当社は2020年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,262	1,715	52.6
2020年3月期	3,031	1,632	53.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,715百万円 2020年3月期 1,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2020年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,780	18.6	360	48.8	360	53.6	260	68.4	33.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は2020年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 0社(社名) 、除外 0社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	7,831,200株	2020年3月期	7,802,400株
2021年3月期2Q	90,926株	2020年3月期	90,882株
2021年3月期2Q	7,720,127株	2020年3月期2Q	7,674,089株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、厳しい状況が続いております。政府の緊急事態宣言が解除された後も、内外需の落ち込みは企業収益を急速に減少させ、国内外各地の感染状況とそれが消費者マインドに与える影響によっては、景気をさらに下振れさせるリスクをはらんでいます。

学校教育を取り巻く環境としては、政府の「GIGAスクール構想」により、児童生徒向けの1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークの一体的な整備が進められています。新型コロナウイルス感染拡大の影響でその整備は加速している一方、学校現場は一斉休校による授業遅れのフォローや、教育課程全般における感染対策の実施など例年ない対応に追われており、特に受験・進路指導は先行き不透明な状態にあります。

このような市場動向のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,761,569千円（前年同期比12.2%増）、営業利益は132,175千円（前年同期比1.5%増）、経常利益は121,308千円（前年同期比20.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は96,485千円（前年同期比3.0%減）となりました。

なお当社の業績の特性として、第2四半期及び第4四半期において、売上高及び営業利益が偏重する傾向があります。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

#### ①学習部門

学習部門においては、GIGAスクール構想における「児童生徒1人1台端末の整備」事業の入札が一部の自治体で開始され、ChromeOSを選定した自治体において、運用管理システム「InterCLASS Console Support」や、フィルタリングツール「InterCLASS Filtering Service」の受注が伸びました。一方で、前年同時期に好調であった高校・大学向けのCALLシステム(※)「CaLaboEX」や画像転送システム「S600-0P」は、第3四半期以降へ入札が遅れたことにより、受注が減少し、売上高は472,994千円（前年同期比13.5%減）、セグメント利益は93,503千円（前年同期比39.3%減）となりました。

#### ②進路部門

進路部門においては、対象事業を営む株式会社昭栄広報の決算時期が異なるため、第2四半期会計期間は4月から6月にあたります。これは緊急事態宣言期間及び、地域によってはその後の一斉休校継続期間に当たり、予定されていた進学相談会の多くが開催の延期または中止となりました。事業として、一部媒体やオンライン相談会を除いて休止せざるを得ず、業績は大きく悪化しました。売上高は423,630千円（前年同期比3.2%増）、セグメント損失は87,895千円（前年同期はセグメント利益56,970千円）となりました。

なお、株式会社昭栄広報の業績は、前第2四半期累計期間には4月1日から6月30日までの3カ月間を計上しているのに対し、当第2四半期累計期間は1月1日から6月30日までの6カ月間を計上しております。

#### ③情報基盤部門

情報基盤部門においては、GIGAスクール構想における「校内通信ネットワークの整備」事業の入札が多くの自治体で実施され、無線LAN最適化ソリューション「Tbridge」を要件化する自治体が増えたことから、受注が急速に拡大しました。次世代アプライアンス「ezContainer」等も堅調に推移し、売上高は864,944千円（前年同期比41.2%増）、セグメント利益は300,434千円（前年同期比45.7%増）となりました。

#### (※)CALL(Computer Assisted Language Learning)システム

コンピュータを活用して語学学習を支援するシステムのこと。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産の額は、3,262,043千円（前連結会計年度末は3,031,414千円）となり、230,628千円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金の増加143,256千円及び商品の増加75,706千円によるものです。

負債の額は、1,546,200千円（前連結会計年度末は1,399,103千円）となり、147,096千円増加しました。これは主に、前受金の増加119,497千円及び買掛金の増加43,011千円によるものです。

純資産の額は、1,715,843千円（前連結会計年度末は1,632,311千円）となり、83,532千円増加しました。これは主に利益剰余金の増加81,013千円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より23,955千円増加し、1,205,023千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、159,055千円の収入（前年同四半期は434,892千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益121,308千円に加え、減価償却費99,068千円及び前受金の増加119,497千円が計上された一方で、売上債権の増加143,256千円が計上されたことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、105,275千円の支出（前年同四半期は2,276千円の収入）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出86,865千円及び敷金及び保証金の差入による支出11,299千円が計上されたことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、29,824千円の支出（前年同四半期は11,378千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出17,656千円及び配当金の支払額15,387千円が生じたことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期業績見通しにつきましては、本日（2020年11月13日）開示いたしました「通期業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,182,057	1,205,023
受取手形及び売掛金	697,872	841,128
商品	49,426	125,133
仕掛品	7,926	211
貯蔵品	3,264	4,683
前渡金	91,813	99,632
その他	78,058	47,340
貸倒引当金	△12,468	△12,468
流動資産合計	2,097,950	2,310,683
固定資産		
有形固定資産	42,980	48,851
無形固定資産		
ソフトウェア	246,903	252,132
ソフトウェア仮勘定	34,018	23,034
のれん	128,453	119,383
その他	23,000	20,000
無形固定資産合計	432,375	414,550
投資その他の資産	458,108	487,957
固定資産合計	933,464	951,359
資産合計	3,031,414	3,262,043

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	136,694	179,706
未払金	103,847	69,166
短期借入金	11,004	1,200
未払法人税等	47,602	62,960
前受金	567,917	687,414
賞与引当金	40,068	69,833
役員賞与引当金	9,190	2,750
その他	81,129	79,718
流動負債合計	997,453	1,152,750
固定負債		
長期借入金	7,852	—
退職給付に係る負債	284,066	—
役員退職慰労引当金	42,817	—
長期末払金	63,854	390,389
その他	3,060	3,060
固定負債合計	401,649	393,449
負債合計	1,399,103	1,546,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	332,098	333,736
資本剰余金	121,412	123,051
利益剰余金	1,245,974	1,326,987
自己株式	△67,905	△67,964
株主資本合計	1,631,578	1,715,810
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	418	△280
その他の包括利益累計額合計	418	△280
新株予約権	313	313
純資産合計	1,632,311	1,715,843
負債純資産合計	3,031,414	3,262,043

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	1,569,578	1,761,569
売上原価	650,193	778,005
売上総利益	919,384	983,563
販売費及び一般管理費	789,176	851,387
営業利益	130,208	132,175
営業外収益		
受取利息	946	148
受取配当金	1,055	1,025
持分法による投資利益	5,517	—
保険解約返戻金	14,343	—
助成金収入	—	4,000
その他	3,083	205
営業外収益合計	24,945	5,379
営業外費用		
支払利息	2,052	1,067
持分法による投資損失	—	14,014
その他	302	1,163
営業外費用合計	2,355	16,246
経常利益	152,798	121,308
税金等調整前四半期純利益	152,798	121,308
法人税等	53,315	24,823
四半期純利益	99,483	96,485
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,483	96,485



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	99,483	96,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	280
その他の包括利益合計	—	280
四半期包括利益	99,483	96,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,483	96,765
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	152,798	121,308
減価償却費	101,113	99,068
のれん償却額	9,299	9,070
支払利息	2,052	1,067
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,386	29,764
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	5,463	△6,439
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△38,608	△284,066
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△44,163	△42,817
長期未払金の増減額(△は減少)	67,734	326,535
受取利息及び受取配当金	△2,001	△1,173
助成金収入	—	△4,000
持分法による投資損益(△は益)	△5,517	14,014
売上債権の増減額(△は増加)	94,896	△143,256
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,635	△69,411
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,461	43,011
前払金の増減額(△は増加)	△6,480	△1,853
前受金の増減額(△は減少)	60,866	119,497
その他	47,326	△12,192
小計	453,071	198,130
利息及び配当金の受取額	2,539	2,132
助成金の受取額	—	4,000
利息の支払額	△2,590	△1,090
法人税等の支払額	△18,128	△44,116
営業活動によるキャッシュ・フロー	434,892	159,055
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△180	△60
定期預金の払戻による収入	—	1,050
有形固定資産の取得による支出	△11,499	△8,266
無形固定資産の取得による支出	△39,157	△86,865
貸付金の回収による収入	94,545	90
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△126,330	—
保険積立金の積立による支出	△4,069	△1,097
保険積立金の解約による収入	90,658	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,883	△11,299
その他	194	1,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,276	△105,275

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の発行による収入	330	—
長期借入金の返済による支出	△6,102	△17,656
株式の発行による収入	470	3,277
自己株式の取得による支出	△45	△58
配当金の支払額	—	△15,387
その他	△6,031	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,378	△29,824
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	425,790	23,955
現金及び現金同等物の期首残高	686,589	1,181,067
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,112,380	1,205,023

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力 発生日	配当の 原資
2020年 6月8日 取締役会	普通株式	15,471	4	2020年 3月31日	2020年 6月29日	繰越利益 剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	学習部門	進路部門	情報基盤部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	546,552	410,616	612,409	1,569,578	—	1,569,578
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	546,552	410,616	612,409	1,569,578	—	1,569,578
セグメント利益	153,920	56,970	206,250	417,140	△286,932	130,208

(注) セグメント利益の調整額△286,932千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	417,140
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△286,932
四半期連結損益計算書の営業利益	130,208

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	学習部門	進路部門	情報基盤部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	472,994	423,630	864,944	1,761,569	—	1,761,569
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	472,994	423,630	864,944	1,761,569	—	1,761,569
セグメント利益	93,503	△87,895	300,434	306,042	△173,866	132,175

(注) セグメント利益の調整額△173,866千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	306,042
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△173,866
四半期連結損益計算書の営業利益	132,175

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2020年8月31日開催の取締役会の決議に基づき、2020年10月1日付けで株式分割を行っております。

1. 株式分割の目的

株式分割によって投資単位の金額を引き下げること、当社株式の流動性向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2020年9月30日(水曜日)最終の株主名簿に記録された株主の所有普通株式1株につき、2株の割合をもって分割しております。

(2) 分割により増加する株式数

①株式分割前の発行済株式総数	3,915,600 株
②株式分割により増加する株式数	3,915,600 株
③株式分割後の発行済株式総数	7,831,200 株
④株式分割後の発行可能株式総数	28,800,000 株

(3) 分割の日程

- ①基準日公告日： 2020年9月11日
- ②基準日： 2020年9月30日
- ③効力発生日： 2020年10月1日

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響は、(1株当たり情報)に反映しております。